



心あったかニュース

役に立てる幸せ

以前にも、チヨーク製造をしている、日本理化学工業の障害者の雇用のことを紹介しましたが、日経ビジネスに、大山会長が語る、人の究極の幸せに納得しましたので、ご紹介します。感動チヨーク工場「に学ぶ仕事の幸福感を増やす方法より工場」の2か所で、7割が障害をもっている。多くの社員はチヨーク作りが好きで入社してきたわけでもない。それでも離職率は低く、ほぼ全ての従業員が離職することなく定年まで勤め上げるそうです。これは、60年前に、障害者の雇用をはじめてからのものだと思います。最初は頼まれたので、2週間程度と考えていたそうですが、障害者の2人は、始業の1時間前には会社の玄関に来て、仕事が始まれば絶対に手を休めない。どうしたらこんなになら一生懸命になれるのかと思うほど、これ以上ない幸せなような顔で働く。2人の存在は、2週間が過ぎる頃には会社の空気を

変えていた。彼らを雇ってほしい。あの子たちにできないことがあるなら私たちがみんなカバーします」と従業員一同が申し出たのだ。以来、体制を整備し、同じような障害者を少しずつ雇うようになったという。大山会長は、障害を持つ社員は、工場で汗水たらして働くより、施設でのんびり暮らした方が幸せなのではないか」と考えていたそうですが、ある住職が、この質問に「人間の究極の幸せは、愛されること、褒められること、役立つこと、必要にされること」と答えてくれ、なぜ60年前から会社が変わったのかを理解したそうです。人に褒められ、「人の役に立っている」「必要とされている」と実感し、幸せを感じているのは障害を持つ社員だけではない。それ以外の社員も、障害を持つ社員から敬意を払われ、「人の役に立っている」「必要とされている」と感じているのだ。

バタフライエフェクトは起こっているかもしれない

チヨウの羽ばたきがちよつとずつ世界に影響を与えて地球の裏側ではトルネードを引き起こす」というバタフライ効果は、ありかも

しれないという論文がでたそうです。生物学や医学関連の論文を掲載する iScience 誌で2022年10月末に発表された論文では、電荷を持った昆虫の群れが気象現象に影響を与える可能性が示されました。ミツバチが群れとして密集すればするほど、大気電荷への影響は自然現象と同じくらい大気の電荷に重要な影響を与える可能性があるという事です。マイクロソフトニュース「バタフライ効果は本物かもしれない」と科学者が宣言、ミツバチの群れが天気を変えるという研究結果より)

編集後記

私達の幸せは、愛を受けとるだけでなく、愛を与える役に立つことだということですね。だとしたら、今の個人利益優先は、違うことだとわかります。これがバタフライのようになると思います。